

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会  
2021年度年次大会 in 東京  
JASW Social Work Seminar 2021 in Tokyo  
「日本で展開されるソーシャルワークの現実-ボーダーを越えるために-」  
開催要項

## 1. 開催の趣旨

SW の胎動を 1920 年代にもとめるならば、SW は既に約 100 年の歴史を有し、また一方で、SW を冠する当協会も昨年創立 60 年を迎えた。この間、多くの SW 実践が展開され、SW のグローバル定義に見るようにミッションも明確にされ、人々の SW への認知度や期待値も高まっている。

一方で現実には、差別や偏見は解消されず、対立や分断はより深まり、事件や事故に対する無関心が広がっている。そこには伝統的な価値観(男尊女卑、自己責任、家族主義など)への固執があるのかもしれない、あるいは、優れた SW 実践の知見が継承されていないのかもしれない、あるいは、制度的枠組みに右往左往させられ SW がゆとりを失いシラケているのかもしれない。

社会変革、社会開発、社会的結束、エンパワメントと解放をミッションとする SW は、改めてこれまでの実践を省みて、グローバル定義や倫理綱領を自らの内に醸成し、そして、より良い実践を志向しなければならない。

本年次大会では、「日本で展開されるソーシャルワークの現実-ボーダーを越えるために-」と題し、必ずしも充実した SW 実践が展開できているとは言えない日本の現実を踏まえながら、border(縁(ふち)、端(はし)、領域)を越える未来志向の SW 実践を参加者と共にディスカッションしていきたい。

- 2. 主 催 : 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会
- 3. 企画運営 : 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 2021年度年次大会 in 東京実行委員会
- 4. 後 援 : (予定)日本ソーシャルワーカー連盟、日本ソーシャルワーク学会、東京ソーシャルワーカー協会、一般社団法人産業ソーシャルワーカー協会、特定非営利活動法人日本子どもソーシャルワーク協会、一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、日本保育ソーシャルワーク学会 (順不同)
- 5. 大会テーマ : 「日本で展開されるソーシャルワークの現実-ボーダーを越えるために-」
- 6. 期 日 : 2021年5月29日(土)
- 7. 開催方式 : オンライン方式(zoom)※COVID-19 感染拡大防止の為、リアルタイム配信による開催。
- 8. 参加定員 : 100名 (※定員になり次第締め切ります)
- 9. 参加費 : ○年次大会参加費(開催日:5月29日土曜日)  
当協会会員1,000円/日本ソーシャルワーカー連盟会員1,000円/一般参加2,000円/学生無料
- 10. 参加申込 : 右記の QR コードよりお申込みください。(申込締め切り:5月24日(月)午後 5 時まで)

## 【お問 合 せ】

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会事務局

TEL:03-5913-8871/FAX:03-5913-8871/E-mail:[jasw@jasw.jp](mailto:jasw@jasw.jp)

※窓口対応時間:月曜日・水曜日・金曜日 午前 11 時～午後 5 時



【参加申込 QR】

【JASW2021年度通常総会】（※JASW 会員のみ対象）

期 日: 2021年5月29日(土)  
時 間: 午前10時30分～午前11時30分  
開催方式: オンライン方式(zoom)

【大会1日目:5月29日(土)】

○大会テーマ「日本で展開されるソーシャルワークの現実-ボーダーを越えるために-」  
(12:30～) (参加者へ zoom への招待 URL 送信)

13:00～

○開会

総合司会:小山菜生子(JASW 会員/実行委員会委員)

○開会の挨拶

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会会長

13:10～

○基調講演

「ソーシャルワーカーの倫理綱領

ー我が国におけるソーシャルワークと社会福祉の課題ー」(仮)

講師:保良昌徳(JASW 副会長/JFSW 倫理綱領委員会委員長)

(14:40～)

(休憩)

15:00～

○分科会

(参加者は申込時に希望した分科会(zoom ブレイクアウトルーム)にて参加)

【第1分科会】

「障害福祉分野における SW 実践の課題」(仮)

障害福祉分野における SW 実践は多くの課題を抱えている。ここでは「利用者主体」「利用者本位」と謳いながら、現実には「支援者主体」「制度本位」に陥っていないか、あるいは、主眼が制度的サービス提供のみに焦点化され、人権や権利は軽視され、「SW 実践」は「業務化」していないか、何よりも様々な課題に SW は貢献しているか。これら現実や課題を踏まえ、未来志向の SW 実践を参加者と共に議論したい。

スピーカー:松永千恵子(JASW 理事/実行委員会副委員長)

毛利公一(JASW 理事/青年部委員会委員)

谷みどり(JASW 会員)

コーディネーター:高石豪(JASW 事務局長/実行委員会事務局長)

### 【第2分科会】

「グローバルアジェンダに貢献できるソーシャルワーカーを目指して  
ー日本の実践でできることー」(仮)

第2分科会では、グローバルな視点から日本のソーシャルワーク実践の目指すべき方向性を考える。日本ソーシャルワーカー協会60年の歴史の中で国際委員会が果たした役割、現在のグローバルアジェンダが目指すもの、それを日本の実践、とくにソーシャルアクションにどうつなげるかを探る。

スピーカー:春見静子(JASW 常任理事/国際委員会委員長)

小川多鶴(JASW 理事/実行委員会委員)

ヴァーグヴァクトル(JASW 会員/国際委員会委員)

コーディネーター:高嶺豊(JASW 理事/国際委員会委員)

### 【第3分科会】

「性のアイデンティティとソーシャルワーク

ー私という存在は誰に与えられるのか?ー」(仮)

世界人権宣言に、すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等と第1条に明記され、あらゆる人々が享受すべきである。しかし、自分の性的指向が、異性や同性、両方に向くなど、生物学的・社会的に割り当てられた性別と自分の性的指向は必ずしも一致するとは限らない。この性的マイノリティの人々が直面する実情や課題などを当事者の声を通し、多様な性のあり方やSWは何ができるのかを検証する。

スピーカー:末永亜衣(JASW 常任理事/青年部委員会委員長)

国見亮佑氏(にじいろほっかいどう)

コーディネーター:上原正希(JASW 理事/青年部委員会委員)

(16:30~)

(休憩)

16:40~

○分科会報告

コーディネーターによる各分科会報告

(参加者はメイルム(zoom)にて参加)

16:55~

○閉会の挨拶

杉山佳子(JASW 副会長/実行委員会委員長)